



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第16号 2005年 6月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆ どりーまあサービス

〒770-0939

徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階

TEL 088-626-3237

FAX 088-611-7035

E-mail: dramer@nmt.ne.jp

発行責任者 山口 浩志

『凡事徹底』



理事長 山口 浩志



昨今、世の中のいたるところで大惨事や悲惨な出来事が後を絶ちません。

尼崎でのJ・R脱線事故を始め、ウイルスソフト欠陥によるパソコン障害等。社会に対する不安はますます募るばかりです。しかしこのような事件も原因が究明されるにつれて明らかにになる事は共通して「凡ミス」です。

私の知っているある魚屋さんに、大晦日の夕方まで新鮮な魚を並べているお店があります。店の人は常日頃から、「うちは店の都合でなくお客さんの都合で商売してるんですわ!」と言います。

営利・非営利、会社・個人事業を問わず経営は真理に基づいて行われるべきでしょう。真理とは、世の中の役に立つこと、満足される事です。この事は、事業形態や業種が違っても共通したルールではないでしょうか。

どんな時代でもどんな場面でも、ひとつ一つの業務や役割、ひとり一人に対する真心、そして1日1日の努力の積み重ねといった「凡事」を積み重ねる事が大事な事です。そういった行動を目指すことで、団体としても個人としても「非凡」を体得していききたいと思っています。

福祉の窓

原因不明や、治療法が未確立な病気、いわゆる子どもの難病は500種類を超え全国で20万人以上の子どもたちが病气と闘っています。これらの子どもたちの治療は長期でありまた病気の後遺症として障害を併せ持つことも少なくありません。

① 主な活動内容

・病气や障害のある子どもの家族を対象にした事業

・ネットワーク電話相談室(03-5840-5973)の運営

・ピア・サポート活動

② 家族同士の交流の場を提供するサマーカーンプの開催

③ 親の会の活動を支援する事業「親の会連絡会」

・親の会合宿研修旅行の実施

・各種医学学会等での「親の会展示PRコーナー」の開設

・「いのちの輝き毎日奨励賞」の授与

・難病の子ども支援映像プロジェクト

④ プレリーダー(遊びのボランティア)養成講座

⑤ 広報活動

NPO

難病のことも支援全国ネットワーク

専務理事 小林 信秋

- ・機関紙「がんばれ!」の発行
- ・啓発人形劇
- ・こどもの難病シンポジウムの開催
- ・病弱教育セミナー、養護教育セミナーの開催
- ・サンタクロースによる病院訪問
- ・健やか親子21推進協議会への参加

昨年度からは病气や障害に対する理解を深めてもらおうと啓発人形劇「THE KIDSON THE BLOCK」(街角の子どもたち)を小学校や学会等で上演し始めました。とてもよい評判で今後各地へと活動をひろめていく予定です。

その他電話相談業務と平行して、病气や障害のある子どもを育てた経験者が今現在病气や障害を持ち様々な悩みを抱えている本人、またはその家族をサポートする「ピア・サポート活動」を国立成育医療センター1Fに専用のカウンターを設けるの第一歩を踏み出しました。

どんな重い病气を持っていたとしても、そのいのちが輝き日々成長、発達していきます。私たちはそのような子どもたちを家族とともに支え、これからの生活の維持、向上に向けて努力を続けていきます。

おじやま しま〜す

ヘルパー 宇山 充栄

これまでとは畑違いの仕事に就いたばかりの宇山さんですが、本人は人と接するのが好きだとの事で、この仕事が自分でも向いていると思いい資格を取ったそうです。

かつては脳梗塞の義母を8年間自宅で看取った経験もあり、つらかった事もありましたがこの仕事をする



きつかけをつくってくれたように思いますと、いつも前向きな姿勢がうかがえます。また担当利用者さんの立石さんは、3年前に膝の手術をしてからは自分で外出もままならなく不自由であった、との事。

「人と接するのが好きなんです。」

利用者さんから宇山さんに対しては、在宅によってそれぞれのかわりかたを

ヘルパー 樋口美穂子

千葉県出身の樋口さんですが、徳島に来てから8年になるそうです。

この仕事はいろいろな人生経験をもった方とかかわれるというメリットがあり、知り合いかからは、大変な仕事と聞いていたが、始めからなにもかもできる事は到底無理なので、徐々に慣れていきます、ということも笑顔の中からは、確固た

「いつも温かい笑顔で
届けたいですね!!」

ヘルパーを目標したいです。」というコメントでした。信念がのぞかれます。この日担当だったSさん宅では、ご家族のあたたい介護を受けられている中、家族の代わりの時間という事で、夕方1時間で清拭をしたりしています。「家族との連携なんかもしっかりと勉強して利用者さんが待つてくれるようなヘルパーを目指したいです。」というコメントでした。



ヘルパー 永井 澄子

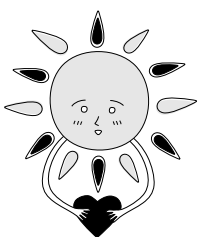
ヘルパーになって1年くらいで、まだまだ慣れない事ばかりですが、今かわっている何人かの方とは気持ちも通じ合い、趣味も似ていたりで、楽しいです、との感想です。この日担当であった木村さんですが、ご主人とは仲の良いおしどり夫婦。ご主人はかつては建築関係の仕事で全国をかけめぐり家には年に数日しかないという生活で、その分家庭の事は殆ど奥さんに委ねられていたそうです。また義母が脳梗塞で倒れてから8年間家庭で最後まで看病をしてきたらしく、その当時はさすがに大変だったんですよ、と目を細めながら

「気持ちを通じ合える
事に喜びを感じます。」

懐かしそうに語られます。



今は主人も家の掃除やら庭の手入れなど、よくしてくれまう、と笑顔が絶えない木村さんですが、ヘルパーさんがきてくれるようになって、二人とも気持ちの上で安心できるそうです。



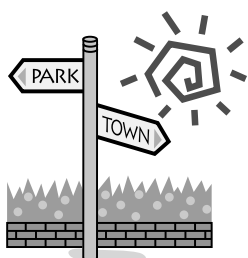
ふれあい活動&ホームヘルパーの両立

玉置久仁子

東京で長年生活をしてきたが、郷里の長崎で実父が介護が必要となり一時帰省。その後ご主人の転勤の関係で徳島で暮らすようになった彼女ですが、こちらにきてまだ2年目であり、空いている時間を働きたいと思ったのがヘルパーになるきっかけのようです。ヘルパーとしては5ヶ月目で、まだまだ新米ですが、何にでも取り組もうとする素直な気持ちはもって生まれた性分でしょうか。

現在にかかわっている方がサービス時間と内容の関係上、介護保険とリハビリサービスとを併用されています。ご利用者様からも、持ち前の人なつっこさが受けてか、信頼も厚いようです。本人からは、「この仕事って、人

生勉強させてもらいながらお給料をいただけるいい仕事だと思い、やりがいがあります。」と意気揚々としている姿は頼もしい限りです。



ふれあい活動奮闘記

『どリーまあ』を立ち上げてすぐに入会されたNさんです。活動も今年で9年目です。文字通り「ベテラン」会員さんです。彼女がかかわっている利用者さんからの信望もそれだけに根強く、ある利用者さんからは、「もうこの人がいない生活は考えられないですねえ(笑)」とまでいわれるほどの存在です。また、「個人的にきてもらっているのではなく、どリーまあへ所属されている方という意味でも安心していただけます。」とのコメントをいただきました。

継続は力なり！



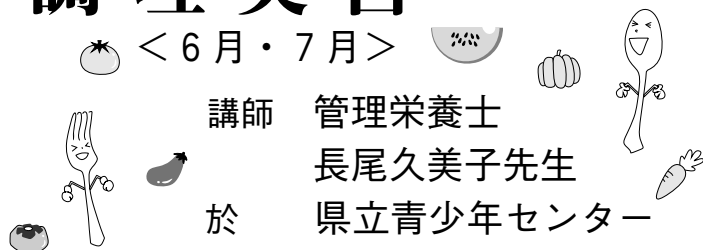
Nさんからは、「いろいろなお宅にお伺いさせていただいて、いつまでも人生勉強ですね。」と、いたって謙虚です。これからも活動に期待がもたれます。



調理実習

＜6月・7月＞

講師 管理栄養士
長尾久美子先生
於 県立青少年センター



管理栄養士である徳島文理大学講師の長尾久美子先生をお招きして、6月・7月と2ヶ月連続で調理実習を行いました。

研修会

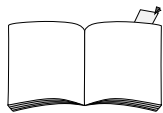
平成16年度に開催した職員研修会の一部をご紹介します。
私共は「介護」を全人的なかかわりと捉えさせていただいております。
従って、広い分野に関して常に「学ぶ」ことを忘れてはならず、今後もスタッフ一同、研鑽を積み重ねてまいります。

民間ヘルパーステーション

合同研修会 ＜8月＞

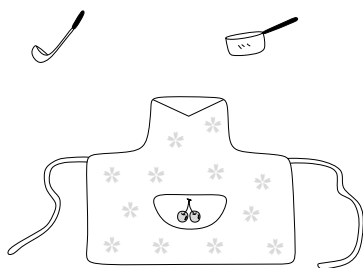
『脳血管障害入門』

講師 七條 文雄 先生
於 ふれあい健康館



在宅の現場では栄養面で
の援助は不可欠です。「食事方法」「料理」「献立」「食事動作」など、ヘルパーのみならず、ケアマネージャーや訪問看護師共に勉強させていただきました。
みんな、実践しながら、真

剣に取り組んでいました。

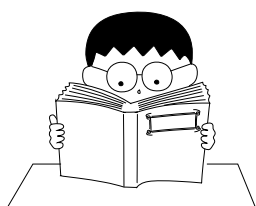


した。



第4回目を迎える「合同研修会」ですが、回数を重ねる毎に参加団体・人数も

増え熱気も増してきております。また、現場で携わる者同士のネットワークもできつつあり、互いに相乗効果があるようです。今回は、脳外科医として現場の第一線でご活躍の七條文雄先生から医療セミナーとして講演いただきました。ご講演の後にも参加者からは質問が相次ぎ、充実した研修会でした。



研 修 会

<10月>

『救命救急法について 実践トレーニング』

講師 徳島東消防署救急救助係長
平井 勝 先生
於 徳島東消防署

介護の現場ではヘルパーの立場であっても、もしもの緊急時は最低限の救急処置はしなければなりません。この研修では、主に緊急時の人工呼吸法や連絡時の注意点など、救急法としての基本を教えてくださいました。

ボーイスカウトの創始者である「ベーデン・パウエル」氏の言葉にもあるように、「備えよ 常に！」が大事なことも教わりました。利用者さんを守るべく技術は、常に磨いていかな



ばなりません。最後にご指導をいただいた消防署の平井係長さんからは「こういったトレーニングは反復が大切です。」と力説されました。

『介護技術～トランスファ実技演習～』

講師 鴨島病院リハビリテーション部
地域連携室 室長 田村 英司 先生
同病院理学療法士 山田 偉伏希 先生
於 鴨島病院運動療法室

<11月>



「生活リハビリ」という

言葉があるように、在宅は利用者さんの「動作」一つ

ひとつがリハビリです。そ

ういった意味でも、初めて

の試みでしたが、研修場所

を病院でのリハビリ室をお

借りして専門のリハビリの

先生から、リハビリ的な観

点からの介護技術を学べる

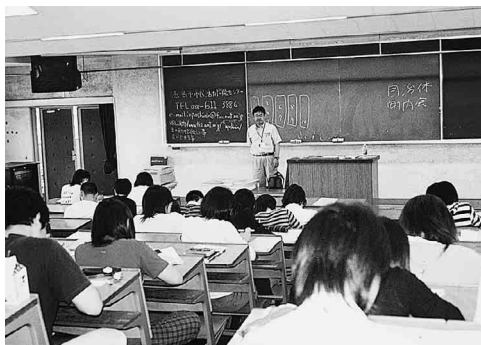


「生活リハビリ」という言葉があるように、在宅は利用者さんの「動作」一つひとつがリハビリです。その意味でも、初めての試みでしたが、研修場所を病院でのリハビリ室をお借りして専門のリハビリの先生から、リハビリ的な観点からの介護技術を学べる

よう計画しました。今回お世話になったのは、鴨島病院さんです。お二人の先生から、熱心な講習を受けることができ、移動方法や移乗の視点から捉えられるようなご指導がいただけました。ぜひ今回の研修を实践で役立てたいものです。

教育

例年6月から3回にわたって徳島大学総合科学部にて非常勤講師として山口が「ボランティア論」を講義しております。若さあふれるキャンパス内は将来のNPOをひびかせてくれる「人財」の宝庫です。



毎年3回シリーズで行われる本講義ですが、第1回「NPOとボランティア」、第2回「住民参加型サービス活動の実践と課題」と続きます。尚、本講義は3名の社会活動家のリレーショー講義であり、第3回は3名の講師と講座の主宰である檜田先生をコーディネーターとして「パネルディス

カッション」を行います。

講義は1回生を対象としておりますが、中には外国からの留学生、かつてNGO活動に参加したことのある学生やら、でなかなかのツワモノぞろいの聴講生です。講義をする山口としても日常の起爆剤となっております。



スミセイ さわやか介護セミナー

「福祉のまちづくりに向けて」

パネルディスカッション

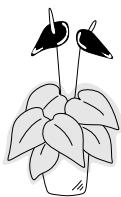
平成16年11月20日

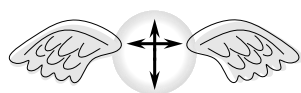
徳島プリンスホテル

平成16年11月20日、徳島プリンスホテルにて(財)住友生命社会福祉事業団主催で開催されました。

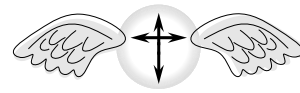
始めに四国大学短期大学部助教授の日開野博先生より「福祉のまちづくりに向けて」地域福祉と在宅ケアサービス」をテーマに講演がありました。

その後、シンポジウムがあり、「どりーまあ」から山口が参加し、他の社会福祉協議会からのシンポジストの人たちと活発な議論がありました。立場の違いはあれ、自分たちの住むまちをどうすべきか、地域福祉にどう取り組むべきか、といった事の見解を出し合い、有意義な場がもてました。





医療ルネサンス



徳島大学病院における緩和ケア

徳島大学病院地域医療連携センター
黒葛原 健太郎

はじめに

徳島大学病院緩和ケアセンターは平成9年に開設されました。緩和ケアの対象となる悪性腫瘍やHIV等の患者様のがん性疼痛など身体的症状に対するケア、患者様と家族の方の心理社会的問題に対するケアを提供しています。今回は、緩和ケアセンターの活動をご紹介しますと共に、今後の活動の方向性についてお話ししたいと思います。

緩和ケアセンターの活動

大下修造センター長（麻酔科教授）のもと、寺嶋吉保副センター長（統合医療教育開発センター助教授）を中心に活動を展開しています。スタッフは、医師、看護師（看護相談員）、薬剤師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、臨床心理士等です。

毎週水曜日の午後に寺嶋副センター長、がん性疼痛看護認定看護師研修を修了した副看護師長を中心として、当番制の看護相談員やMSWが「緩和ケアチーム」として病棟ラウンドを行っています。

病棟ラウンドでは、センターへ紹介を受けた患者様以外にも、がん性疼痛などの対応で病棟スタッフが苦慮している患者様の相談を直接受け、患者様の診察、疼痛アセスメント、主治医・担当看護師に対するコンサルテーションを行っています。また、患者様や家族の方の心理社会的問題に関しては、MSWや臨床心理士が対応しています。

また、緩和ケアセンターは、毎週月曜日～金曜日午後1時～3時に開室しており、MSWが心理社会的問題への相談対応、治療や退院調整に関する情報提供を行っています。

今後の方向性

緩和ケアセンターでは、今年度、専従医師を配置して「緩和ケア診療加算」の算定要件を満たすことを目指しています。緩和ケア診療加算の算定は、現在、ボランティア的に行われている「緩和ケアチーム」の活動を院内において診療行為として明確に位置付けるだけでなく、患者様のがん性疼痛、うつやせん妄などの精神症状に対する迅速な対応を可能とします。

また、緩和ケアチームの活動は、患者様の症状緩和のみならず、当院地域医療連携センターとも相互協力しながら、地域の病院・診療所、訪問看護ステーションや訪問介護事業所等との連携を進め、患者様の円滑な転院や自宅療養への移行を援助します。

緩和ケアセンターでは、診療加算の算定のため昨年度、看護相談員をがん性疼痛看護認定看護師研修へ派遣し、今年度は専従医師および専任医師の確保に向け調整を進めています。

当院だけでなく、徳島県内における緩和ケアのレベルアップのためにも、緩和ケア診療加算の取得は必要であると考えています。

おわりに

この10年で緩和ケアという言葉が医療者だけでなく、一般の方の認識の中にも浸透してきたと思います。「自分らしく最後まで生きたい」という患者様の希望をかなえる緩和ケアは特別な医療ではなく、「当たり前の医療」であると私は考えています。

当院のみならず、多くの医療機関で緩和ケアが提供できる体制が整備されることを強く望みます。また、緩和ケアを提供できる医療者を医学教育の中で育成していきたいと考えています。

お問い合わせ先

徳島大学病院緩和ケアセンター
TEL (088) 633-7457 (担当: 黒葛原)

たすけあい活動 行動指針

《2003年～2005年 ～3ヵ年プラン～》

1. 自主性の尊重

個人の自発性・創造性を最大限に生かし、常に福祉の現場を社会参加への絶好のチャンスととらえ、自己実現の場とする。

2. 公的立場の役割認識

地域住民の自主的な活動の参加を促進し、そうした活動者との連携を常に重視しつつ、地域コミュニティーづくりの現場のリーダーとして活躍できるよう絶えず自らの力を養っていく。

3. ネットワークづくり

- ① 地域市民に対して福祉サービスについての啓発・普及活動に努め、誰でもが参画できる福祉コミュニティーづくりに寄与していく。
- ② 各専門機関との連携に努め、社会連帯・相互扶助の意識に基づき、地域福祉を支える構成員としての立場で広く仲間づくりにつとめていく。

4. 教育・学習の場づくり

専門的知識・技術の習得や家族と地域社会とのかかわり方といったケース事例を通じた実践研究を基に、教育・研修の場づくりを積極的に推し進めていく。

【編集後記】

本年度の『どリーま通信』は、松下電器産業株式会社様のお取り扱いにより「ボランティア市民活動資金」の助成を受けることができました。紙面をお借りしまして、貴社に対してのお礼と感謝の意を述べさせていただきます。

今後も通信を通して様々な角度からの啓発活動の充実に努めてまいります。当通信に對しましてのご意見・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡くださいませ。



2005年 スローガン

～ 4 つ の F ～

Fair Play 公明正大な態度

Fast judgment 迅速な判断

Follow Through 最後までやり抜く

Friend Ship 友情・友愛

活動報告

平成16年

- 4/1 職員研修会 「呼吸器・吸引器の取り扱い方」 (於：どりーまあ事務所)
- 4/8 地域交流研究会 (於：県同和対策センター 参加：山口)
- 4/13 介護支援専門員協会業務委員会 (於：論田病院参加、山口)
- 4/16 成年後見制度・権利擁護学習会 (於：県立総合福祉センター、参加：山口)
- 4/19 支援費制度説明会 出席 (於：県庁、出席：山口)
- 4/22 当事者擁護ボランティア“ホップス”定例会 (於：徳島市福祉センター、参加：山口)
- 4/24 職員研修会 「制度の理解と職業倫理」 (於：どりーまあ事務所)
- 4/30 「介護保険と障害福祉施策を考える公開集会」 (於：東京中野プラザ、参加：山口)
- 5/11 介護支援専門員協会業務委員会 (於：論田病院、参加：山口)
- 5/13 ホップス活動 (於：三野町デイサービス、参加：山口)
- 5/14 職員研修会 ～事務職員対象～ 「電話の対応と業務連携について」
徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義 (山口)
- 5/16 徳島緩和ケア研究会セミナー「リンパ浮腫について」 (於：徳島大学、参加：山口他2名)
- 5/18 いきいきサロン “さらだ”
- 5/20 ホップス定例会 (於：徳島市福祉センター、参加：山口)
- 5/21 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義 (山口)
- 5/22 職員研修会 「掃除の基本的理解 ～精神トレーニング～」
- 5/27 徳島県同和対策推進会議 (於：千秋閣、参加：山口)
どりーまあサービス 理事会 (於：鴨島セントラルホテル)
- 5/28 ホップス活動 (於：三野町デイサービス、山口)
- 5/30 徳島神経難病自助ケア研究会 総会出席 (山口)
基調講演「神経難病における言語障害とその治療」 講師：徳島大学 中村和己先生
- 6/3 徳島大学総合科学部 「ボランティア論」講義 (山口)
- 6/10 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義 (山口)
- 6/17 成年後見制度・権利擁護学習会 (於：県総合福祉センター、参加：山口)
- 6/23 ホップス活動 (於：三野町デイサービス、山口)
- 6/26 職員研修会【調理実習】PART ① (於：県立青少年センター調理実習室)
- 7/12 津田地区民生委員会定例会にて活動報告 (於：津田コミュニティセンター、山口)
- 7/14 新町地区民生委員会定例会にて活動報告 (於：新町公民館、山口)
- 7/15 県介護支援専門員協会役員会 (於：ふれあい健康館、山口)
- 7/17 職員研修会【調理実習】PART ② (於：県立青少年センター調理実習室)
- 7/24 ケアマネジメントリーダー研修会参加
(主催：日本社会福祉士会 於：東京五反田、参加：山口)
- 7/29 徳島大学総合科学部 「ボランティア論」講義 (山口)
- 8/4 県社会福祉士会ケアマネジメント委員会定例会 (於：どりーまあ会議室)
- 8/10 介護支援専門員協会業務委員会 (於：論田病院)
- 8/11 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義
- 8/18 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義
- 8/19 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義
- 8/20 民間ヘルパーステーション合同研修会 (主催：どりーまあサービス)
「脳血管障害入門」 講師：脳外科医 七條文雄先生 (於：ふれあい健康館)
- 8/27 ホップス活動 (於：三野町デイサービス、山口)
- 8/30 徳島県同和対策推進会議 (於：千秋閣、山口)
- 9/18 訪問看護ケア研修会 ～ターミナルケア～ (於：大阪 参加：遠藤)
- 9/19 県介護支援専門員協会 オープン相談会参加 (於：グリーンヒル穴吹、山口)
パーキンソン病友の会定例会参加 (於：石井中央公民館、参加：山口)
- 9/23 介護たすけあいフォーラム in 東京 参加
「地域包括ケアと2015年高齢者介護問題について」
(於：みなと NPO センター、参加：山口)

- 9/25 職員研修会 「記録と業務報告について」
 9/29 県社会福祉士会ケアマネジメント委員会 (於：どりーま会議室)
 10/10 福祉公開セミナー 「ご存知ですか？こんなインフォーマルサービス！」
 (主催：県社会福祉士会 於：県総合福祉センター)
 10/21 徳島保健所運営会議 (於：徳島保健所、参加：山口)
 10/22 徳島緩和ケア研究会セミナー
 「緩和ケアチーム報告」 (於：徳島大学病院、参加：山口他2名)
 10/23 社会福祉士国家試験対策ゼミ講義～介護概論～ (於：県立総合福祉センター、山口)
 10/25 介護支援専門員協会業務委員会 (於：論田病院)
 10/29 緩和ケア講演会 参加 (於：ホテルグランドパレス、参加：山口他4名)
 職員研修会
 「救急法に関する理解～介護職としての技術トレーニング～」 (於：徳島東消防署)
 11/5 ゆずヘルパー養成講座 講義 }
 11/9 ゆずヘルパー養成講座 講義 } (山口)
 11/9～11/10
 全国サービス提供責任者研修会参加 (於：熱海後楽園ホテル、参加：大塚)
 11/17 成年後見制度・権利擁護学習会 (於：県立総合福祉センター、参加：山口)
 11/21～11/22
 グループホーム評価調査員研修会出席 (於：香川県総合福祉センター、出席：山口)
 11/26～11/27
 西日本サービス提供責任者研修会 (於：岡山県倉敷市、参加：倉橋、大田)
 11/27 職員研修会 「介護技術～トランスファー実技演習～」 (於：鴨島病院リハビリ室)
 11/30 地域リハビリ推進事業研究会 (於：県立工業技術センター、参加：山口他2名)
 12/2 徳島緩和ケア研究会にて活動報告
 「在宅ターミナルケアの実践報告～どりーまサービスシステムの場合～」
 (於：徳島大学病院 山口)
 12/7～12/8
 難病情報・相談支援センター県外視察 (訪問先：佐賀県、広島県、参加：山口)
 12/12 呼吸リハビリセミナー (於：健祥会福祉専門学院、参加：遠藤)
 12/22 徳島労働福祉協議会 ヘルパー養成講座 講義 (山口)
 12/25 職員研修会「県外研修参加者報告会～サービス提供責任者研修会参加者より報告～」
 (於：どりーま会議室)

平成17年

- 1/21 徳島緩和ケア研究会勉強会 (於：徳島大学病院、参加：山口)
 1/23 神経難病セミナー (於：東急イン、参加：山口、遠藤)
 1/28 徳島県地域リハビリテーション研究会 活動報告
 「在宅療養生活のあり方について ～どりーまサービスの事例より～」
 (於：徳島大学病院、参加：山口)
 1/29 職員研修会 「リハビリテーション概論と実践論」 (於：どりーま事務所)
 2/20 徳島オストミー協会定例会参加
 「NPO についての説明」 (於：かんぼの宿、参加：山口)
 2/25 徳島県地域リハビリテーション勉強会出席 (於：徳島大学病院、参加：山口)
 3/11～3/12
 全国介護支援専門員連絡協議会第1回研究大会
 (於：パシフィコ横浜、参加：山口)
 3/19 介護保険を考える交流集会 シンポジストとして参加
 (主催：徳島健康生協、於：県郷土文化会館、参加：山口)
 地域リハビリテーション講演会参加 (於：徳島プリンスホテル、参加：蔵本)